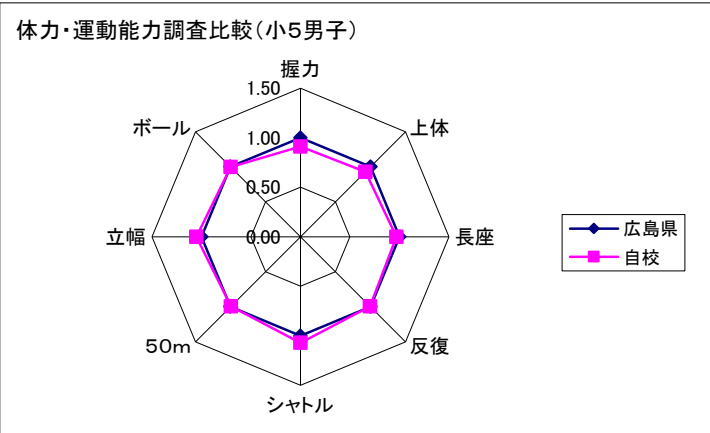
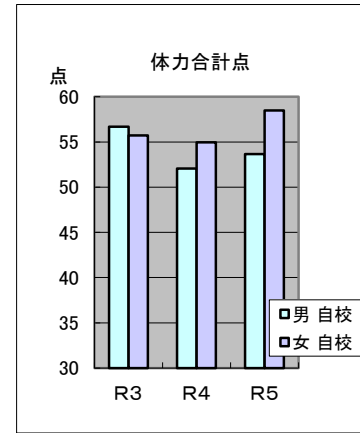
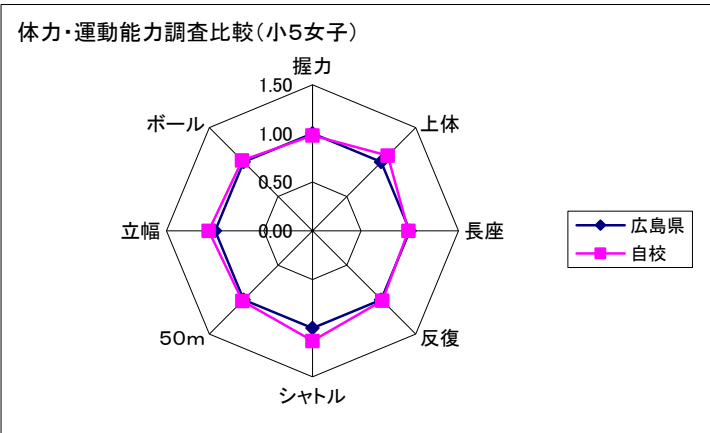


男子の体力合計点 学校 53.65点 県平均 54.16点



女子の体力合計点 学校 58.47点 県平均 56.22点



R5体力・運動能力調査の結果と分析

結果と分析

① 50m走(呉市の課題種目)
 ・男女共3つの学年が前年度の平均値より記録が伸びた。県平均と比較すると、男子は1つの学年、女子は2つの学年が上回っている。
 ・体育科の授業で短い距離を走る運動を全学年で徹底されていなかった。

②(中学校区の課題種目)
 ・全国平均・県平均を上回っている学年は、男子1学年、女子2学年であり、下回っている学年が多い。
 ・県平均との差があるため、体育科の授業の準備運動で柔軟運動を継続して行う必要がある。

③(自校の課題種目)
 ・全国平均・県平均を上回っている学年は、女子の1学年のみである。
 ・今後、学年に応じた取組を全校で行っていくことで、握力を高めていく必要がある。

課題解決のための今後の取組及び数値目標

①呉市の課題種目 (50m走)	具体的な取組内容 ・「くれ・チャレンジマッチ・スタジアム」のダッシュリレーに加え、うつ伏せダッシュリレーも全校で行う。 ・体育科の授業で最初の5分間、短い距離を走る運動を取り入れるなどして継続して取り組む。 ・学年末に50m走のタイムを計測することで、記録を意識させる。
②中学校区の課題種目 (長座体前屈)	具体的な取組内容(中学校区で1つ以上共通の取組を設定) ・中学校区で連携して引き続き体育科の準備運動で柔軟運動を継続する。 ・体育朝会で柔軟運動の効果的な仕方を指導し、運動の仕方を身に付けさせる。 ・学年末に、次学年の県平均を目標として、長座体前屈を計測することで、自分の記録を意識させる。
③自校の課題種目 (握力)	具体的な取組内容 ・「きらいき健康週間」に項目を設け、全校で取り組む。 ・学年末に、次学年の県平均を目標として、握力を計測することで、自分の記録を意識させる。 ・休憩時間に登り棒やうんてい、ジャングルジム、鉄棒などに取り組めるようにさせる。

※具体的な数値目標(記録の伸びを数値化)